



学校管理職マネジメント研修 アンケート集計結果

本稿は、平成 24 年度公開講座「学校管理職マネジメント短期研修プログラム」の受講生の皆様にご協力いただいたアンケートの結果をお示しするものです。インターネットに公開する関係上、一部の設問のみの分析となっておりますことをご了承ください。

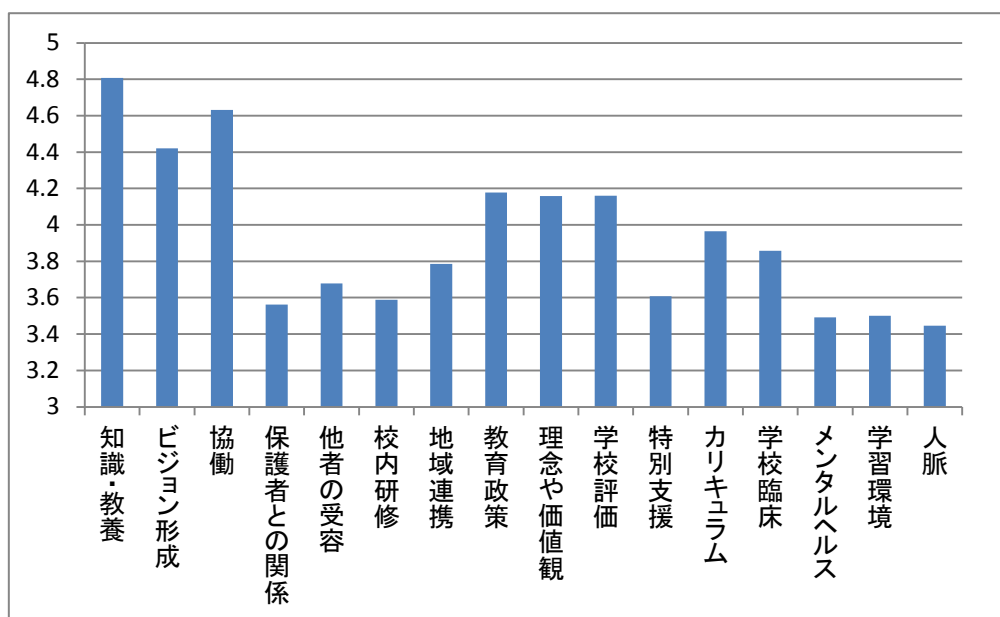
本稿の作成は、リサーチアシスタントの 1 名が原案を作成し、他の関係者の意見を踏まえて修正するという手順で行いました。ただし、本稿はあくまで原案作成に携わったリサーチアシスタントの個人的見解を示すにすぎず、事務局の公式見解とは何ら関係のないものであることを付言いたします。

アンケートの概要

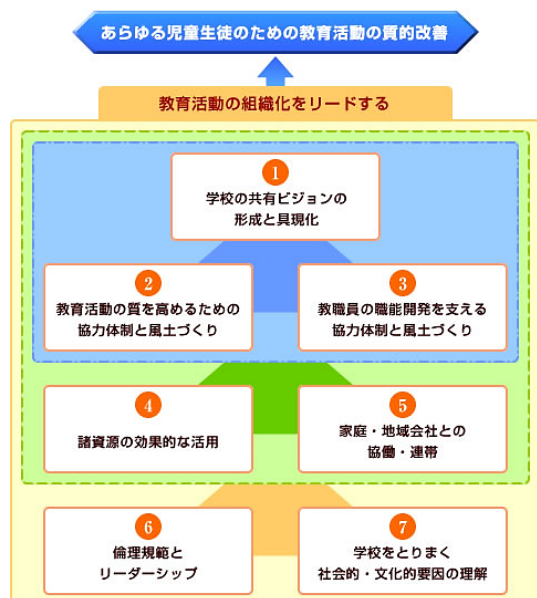
アンケートの実施日は平成 24 年 7 月 30 日・31 日・8 月 1 日・22 日・23 日です。回答者数は、前半日程 57 名、8 月 22 日 55 名、8 月 23 日 56 名で、出席者の全員から回答を得ました。

研修に対する期待

受講者の先生方の興味や研修に対する期待について調べる目的で、1 日目の「本研修を受講する目的」に関する調査を企画いたしました。寄せられた回答の「とてもあてはまる」を 5、「まったくあてはまらない」を 1 とし、各項目の平均を以下の図に示します。



研修内容に直接関係する項目で、平均値が特に高いものは、「学校のビジョンを形成する能力を身に付けるため」(4.42)、「教職員間の協働を実現する能力を身に付けるため」(4.63)



でした。

本調査の調査項目は、日本教育経営学会が提唱する「校長の専門職基準[2009年版]」を参照しながら、研修の時間割を踏まえて設定しています。

「校長の専門職基準」では、学校管理職に求められる資質・力量を7つの要素に分解しています。左図のように、7つの要素は階層になっています。「⑥倫理規範とリーダーシップ」・「⑦学校をとりまく社会的・文化的要因の理解」のうえに「④諸資源の効果的な活用」・「⑤家庭・地域社会との協働・連携」があり、さらにそのうえにビジョン形成をはじめとする項目①～③が成立する、という図式となります。

今回の質問項目は、

- ①～③に該当する項目が、ビジョン形成・協働・他者の受容・校内研修・カリキュラム・メンタルヘルス
- ④～⑤に該当する項目が、保護者との関係・地域連携・学校評価・学校臨床
- ⑥～⑦に該当する項目が、教育政策・理念や価値観・特別支援

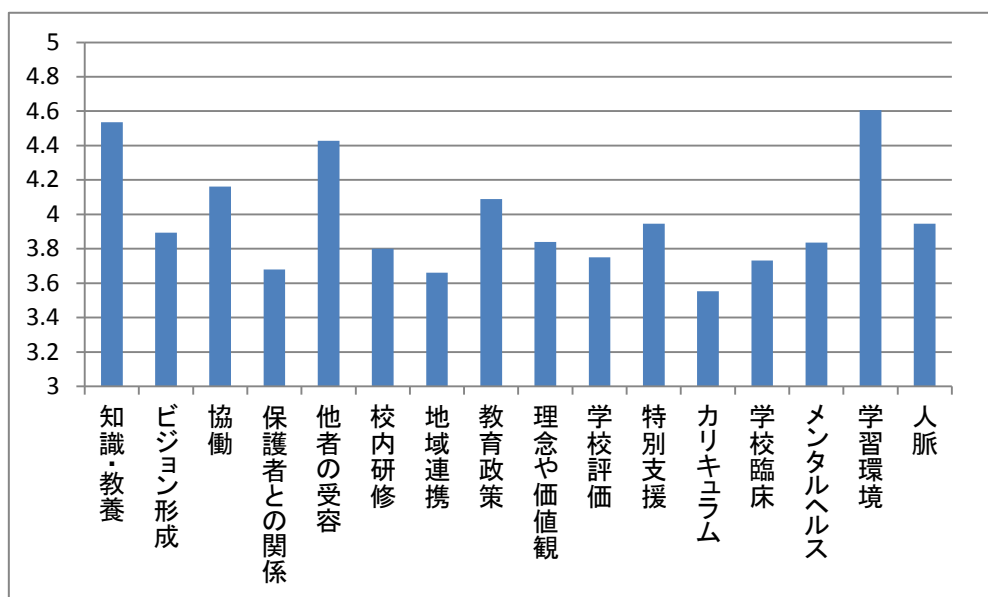
として分析しました。

※幅広い知識・教養、人脈（研修者間のネットワーク）、職場を離れた学習環境の3項目については、2010年までの調査から引き継いだ項目です。

グループごとにみても、教育の組織化の最上位に位置づく①～③に該当する項目が最も多くの期待を集めている一方で、④～⑤に当てはまる項目は受講者の中での優先順位が低いように思われます。事務局としては、日常業務のなかで先生方が独自のノウハウを積み重ねておられるのではないかと考えています。

研修から得られたもの

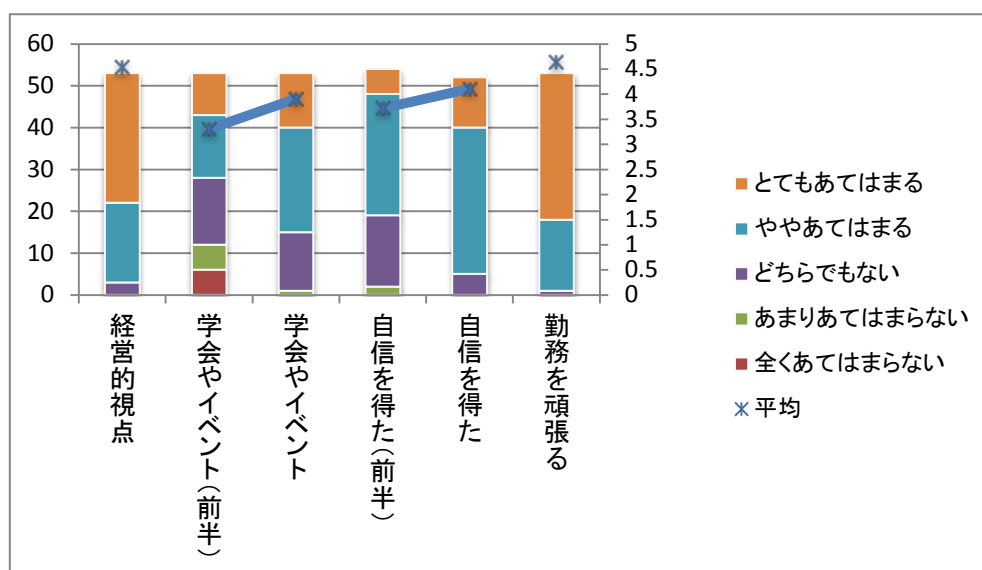
研修5日目には、上記と同じ項目について、「研修を通してどの程度得られたか」というアンケート項目を設けました。その結果を次ページに示します。この回答は講義を受けた印象などに左右される要素もあることから、科目内容の意義や講義展開の巧拙などを直接的に示すものではない旨、あらかじめお断りします。



1 ページに示した研修に対する期待と、上に示す数値は必ずしも比較できるものではありませんが、「他者の受容」、「保護者との関係」等、人間関係に関する項目は、もとの期待度よりも高い数値を示しており、受講者に意義が実感されているものと考えられます。

研修を振り返って

5 日目に、「明日からの勤務を頑張ろうと思う」と回答した受講者は、50 名を超え、回答の平均値は 4.64 となりました。同様に、「経営的視点に立った思考の重要性を知ることができた」についても高い平均値（4.53）となりました。3 日目調査に比べ、5 日目では、「関連する学会やイベントに参加してみようと思う」「研修に参加して自信を得た」という回答が増加し、受講生のモチベーションが上がっていることがうかがわれます。



さらに学ぶために

アシスタントの所属する教育法制研究室では、教育経営研究室と合同で、「校長の専門職基準」に準拠した『ケースメソッド事例集』を発行しております。本事例集は「日本教育新聞」等でも取り上げられているとおり、副校長・教頭・ミドルリーダー層の自己研修にも有効な 14 のケースを収録してあります。以下のアドレスより入手できます。

<http://www.education.kyushu-u.ac.jp/~motokane/index.php?id=216>

また、「次世代スクールリーダー」養成プログラムのホームページでは、新任校長研修のアクションリサーチに関する研究成果報告書の閲覧ができるほか、1 週間の行動記録をレーダーチャートにできるタイムマネジメント・アプリがあります。

<http://www.education.kyushu-u.ac.jp/~schoolleader/>

また、九州教育経営学会では、学校で直面する日常的な課題から、外国研究、理論研究まで幅広いテーマで研究を積み重ねています。ホームページに紀要タイトル等を載せていますので、ぜひご覧ください。

<http://kaseaedu.blogspot.com/>

これまでにご紹介した各種プロジェクト、学会 HP へは、教育経営・法制研究室のホームページからジャンプすることができます。

<http://www.education.kyushu-u.ac.jp/~motokane/index.php?id=92>

このアンケートの結果は、福岡県教育庁の担当者とも共有し、次年度の研修運営に生かして参ります。

5 日間の受講、誠にありがとうございました。

平成 24 年 8 月 31 日

学校管理職マネジメント短期研修プログラム スタッフ一同

